



○世帯数 118,466(37増) ○人口 男128,044(26増) 女125,295(25増) 計253,339(51増) うち外国人住民数4,144 (平成26年2月1日現在、()は前月比)



市の地域防災計画を修正しました

平成23年3月に発生した東日本大震災を受け、国による災害対策基本法の改正、都による被害想定の見直しや都地域防災計画の修正が行われる中、市では、地域防災計画を全面的に修正しました。

今後も、「市民」「自主防災組織・自治会・事業所等」「市・防災関係機関」の三者が連携する「自助・共助・公助」を基本理念として、地域防災力の向上と安全なまちづくりを推進していきます。

なお、この計画は市のホームページでご覧になれるほか、4月1日(火)から、市役所3階市政情報公開室、市政情報センター、中央・各地区図書館でご覧になります。

問合せは、防災危機管理課危機対策係(335・4283)へ。

修正の主な内容

■市地域内で発生すると考えられる最大震度を「6弱」から「6強」へ見直し
最大震度を見直したことにより、従来の被害想定より、死者や負傷者、避難者、建物の全壊棟数、水道断水率などの数値も大きくなりましたので、計7つの減災目標を掲げ、目標達成に向けた対策・取組を推進することとしています。

◆減災目標と主な対策◆

項目	目標	主な対策
被害軽減	○死者を半減させる ○避難者を約2万5000人減少させる ○建築物の全壊・焼失棟数を半減させる	住宅及び特定緊急輸送道路沿道の建築物の耐震化推進、家具類の転倒防止器具の設置促進ほか
機能確保と安全確保	○中枢機能を支える施設(市庁舎、避難所ほか)などの機能停止を回避する ○帰宅困難者の安全を確保する	施設の耐震化の推進、事業継続計画の策定、一時滞在施設の拡充ほか
都市機能の早期回復	○ライフラインを60日以内に95%以上回復する ○避難所の環境整備などにより被災者の当面の生活を支え、ライフラインの回復とあわせて、応急仮設住宅への入居などを進め、早期に被災者の生活再建の道筋をつける	下水道管の耐震化、特定緊急輸送道路沿道建物の耐震化による復旧のための交通網の整備、避難所の管理運営体制の確立、り災証明の早期発行体制の構築ほか

■都の地域防災計画に準拠した構成

大規模災害時には、広域的な災害対策が必要となることから、各防災関係機関との円滑な連携体制を構築するため、都の地域防災計画に準拠した構成としました。このことに伴い、従来の計画では時系列ごとに対策・取組を掲載していましたが、今回の計画では施策ごとに対策・取組を掲載しました。

■帰宅困難者対策を充実

東日本大震災では、物的・人的被害が小さかった都内においても、多くの帰宅困難者が発生し、その対応が課題として明らかになりました。都では、昨年4月に「東京都帰宅困難者対策条例」を施行し、従業員の一斉帰宅の抑制や3日分の水・食料などの備蓄を事業者の努力義務としています。

市においても、都条例の周知徹底を図るとともに、都及び事業者などと連携し、帰宅困難者を一時的に受け入れる「一時滞在施設」の確保に努めるなど、帰宅困難者対策を推進します。

■避難場所の名称や範囲などを見直し

市民の方から「一時(いつとき)集合場所」と「避難場所」との違いがわかりにくいのご意見が多かったことから、「一時(いつとき)集合場所」を廃止し「避難場所」に統一しました。また、「広域避難場所」についても、現状に合わせて、廃止や新規指定などを行いました。

◆避難場所の名称と場所◆

避難場所の名称		場 所
修正前	修正後	
一時(いつとき)集合場所	地域避難場所	自宅付近の公園、神社の境内など
	指定避難場所	市立小・中学校、明星学苑、都立高校の各校庭(計39か所)
広域避難場所		大きな公園、多摩川河川敷など(計11か所)

■避難所の管理運営の円滑化

市では、震度6強の大地震により最大で約4万人の避難生活者の発生を想定していますが、避難生活者が一時的に生活を送ることとなる避難所ごとに「避難所管理運営マニュアル」を策定し、災害時要援護者や女性、外国人の視点など、多様な避難者ニーズに配慮した対策を推進し、避難所の管理運営の円滑化を図ります。

「自助」「共助」の取組をお願いします

大規模な災害においては、市・防災関係機関だけではなく、市民、家庭、自主防災組織、自治会、事業所などが中心となって、「自らの生命は自らが守る」「自分たちのまちは自分たちで守る」との考えに基づき行動することが求められます。また、東日本大震災や阪神・淡路大震災においても、自身や家族による「自助」と、地域の連携による「共助」により、多くの生命が救われています。

そこで、市民の皆さんには、次に掲げる取組をお願いします。

■自助の取組

- 建築物の耐震化
- 家具類の転倒・落下・移動防止対策
- 最低3日分の飲料水及び食料などの備蓄
- 家族などとの連絡手段の確保
- 近隣の避難場所の確認ほか

■共助の取組

- 隣近所との声掛け
- 地域防災訓練への参加による初期消火・救出・応急救護技術の習得
- ボランティア活動への参加ほか

3月11日(火)午後2時46分に黙とうを

東日本大震災で亡くなられた方々に哀悼の意を表し、3月11日(火)午後2時46分に、黙とうをささげましょう。

市長コラム 24
笑顔の府中
府中市長 高野 律雄

あの日を忘れない

府中市出身で世界一を極めた女子サッカー選手の澤 穂希さんが、1月、郷土の森総合体育館で東日本大震災復興支援イベントを開催しました。ラモス瑠偉さんら男子サッカー元日本代表選手チーム、ナオト・インティライミさんらサッカー好きの芸能人に市内に拠点を置く府中アスレティックFCの選手を加えた混合チーム、そして澤さん率いるドイツワールドカップで活躍したジャパン選手のチームという豪華な顔ぶれが集い、フットサルのチャリティマッチを行ったのです。会場は超満員。熱気があふれる素晴らしい内容でした。当日の収入は陸前高田市に整備中の

サッカーグラウンドとクラブハウスの費用に充て、夢と希望を贈ることです。

あの震災から3年がたちました。喉元過ぎれば熱さを忘れるということわざがありますが、決してそうあつてはいけません。いまだに身内が行方不明の方や、仮設住宅での生活を余儀なくされている方がたくさんいます。また、いつ私達のまちに災害が起こるかわかりません。一緒に頑張ること、いざというときの準備が必要です。

本市では、引き続き宮城県多賀城市と岩沼市への職員派遣を行います。また、先月、地域防災計画の震災編を大幅に修正しました。今後は、新たな防災ハンドブックの全戸配布や自主防災活動の支援などを行っていきます。

財政見通しと今後の課題

財政見通し

第6次府中市総合計画を策定するにあたり、前期基本計画期間である平成26年度から29年度までの財政見通しを作成しました。

財政見通しでは、計画期間中の歳入と歳出を差し引くと、各年度で歳入が不足しており、計画期間合計で88億円の財源不足が生じる見込みとなっています。

この要因は、社会保障経費の増加、競走事業収入の低迷、公共施設やインフラの維持・更新費用の増加などとなっています。また、財源不足に対し、これまでどおり基金による補てんを続けた場合、基金残高が大きく減少し、臨時的な支出に対応できなくなるなど、安定した市政運営が難しくなります。

現在、国の経済政策により、景気は回復傾向にあり、平成26年度予算(案)では、市税などは増加を見込むほか、歳出での徹底した経費の削減と事務事業の見直しによる財源の重点化に努め、財源不足額を6億円に抑制しています。

しかし、景気回復が確かなものになるまでは、楽観できない状況です。

◆第6次府中市総合計画での財政見通し(普通会計)◆

(平成25年10月末時点)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	合計
歳入	入	922億円	914億円	907億円	917億円	3,660億円
	市税	470億円	466億円	469億円	471億円	1,876億円
	国庫・都支出金	262億円	266億円	261億円	231億円	1,020億円
	基金繰入金	49億円	42億円	27億円	45億円	163億円
	うち財源補てん額	27億円	21億円	18億円	22億円	88億円
	市債	26億円	11億円	12億円	31億円	80億円
その他	115億円	129億円	138億円	139億円	521億円	
歳出	出	922億円	914億円	907億円	917億円	3,660億円
	義務経費	421億円	428億円	432億円	438億円	1,719億円
	人件費	118億円	119億円	117億円	115億円	469億円
	扶助費	255億円	263億円	271億円	279億円	1,068億円
	公債費	48億円	46億円	44億円	44億円	182億円
	その他経常経費	370億円	371億円	377億円	387億円	1,505億円
	投資的経費	131億円	115億円	98億円	92億円	436億円
	年度末基金残高	227億円	188億円	158億円	116億円	
年度末市債残高	421億円	392億円	365億円	357億円		

※普通会計とは、国が定めた各地方公共団体の財政状況の把握や財政比較などのために用いる統計上、観念上の会計です。府中市における普通会計は、一般会計と公共用地特別会計を合計したものとほぼ同じです。

課題の解消に向けた取組

■新たな行財政改革推進プランを策定

市では、様々な行政課題に対し、より一層の歳入確保や事業の選択と集中の視点に立った財源の重点化を図るため、市の行財政改革についての取組を44項目にまとめた、行財政改革推進プランを策定しました。

今後、市民の皆さんにご理解とご協力をいただきながら、同プランに基づき、様々な取組を進めていきます。

問合せは、財政課行財政改革担当(335・4166)へ。

- ▽主な取組
 - 広聴・広報活動の充実や積極的な情報公開
 - 補助金制度の見直し
 - 公共施設などの計画的な保全
 - 職員数や職員給与の見直し
 - 情報通信技術の活用
 - 手数料、使用料の見直し
 - 行政サービス水準の見直し

■公共施設に関する意見交換会「あなたが考える公共施設の見直し」

▽日時・会場 右の表のとおり

▽定員 各日先着30人

▽費用 無料

▽内容 公共施設の最適化に向けた検討の方向性(案)についての説明及び意見交換

▽申込み 当日直接会場へ

▽問合せ 建築施設課公共施設マネジメント担当(335・4358)

日時	会場
3月18日(火)午後7時～8時半	片町文化センター
3月22日(土)①午前10時～11時半、②午後2時～3時半	①新町文化センター、②住吉文化センター
3月23日(日)午前10時～11時半	紅葉丘文化センター
4月12日(土)①午前10時～11時半、②午後2時～3時半	①是政文化センター、②武蔵台文化センター
4月13日(日)午後2時～3時半	白糸台文化センター
4月15日(火)午後7時～8時半	中央文化センター
4月17日(木)午後7時～8時半	西府文化センター
4月19日(土)午後2時～3時半	四谷文化センター

今後の課題

■高齢者人口の増加による社会保障経費の増加

市では、国や都などの補助を受けて行う事業のほか、市独自の課題への対応や特色あるまちづくりのために、市税を活用し、様々な市民サービスを実施しています。

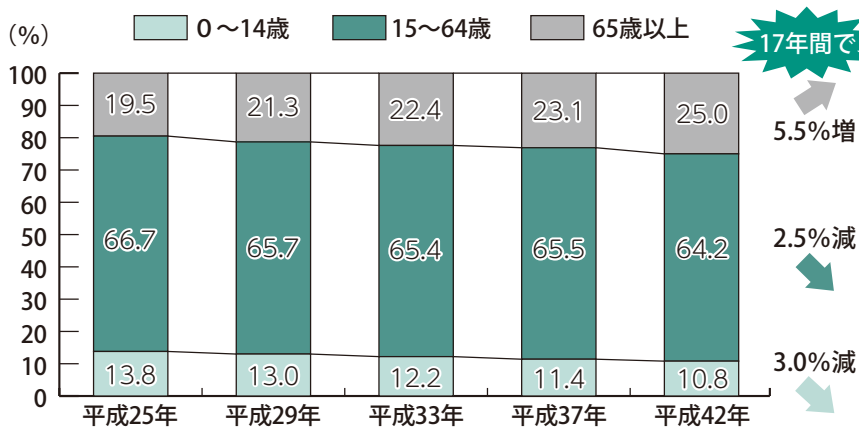
現在、市の人口は約25万人ですが、今後の推計人口では、平成42年までに約1万人の増加を見込んでいます。人口の内訳では、65歳以上の高齢者人口の割合は増え続け、介護や医療のほか、様々な高齢者福祉サービスなどの社会保障経費は増加することが見込まれます。また、市税収入の多くを納める生産年齢人口(15～64歳)の割合は減少するため、市税収入で増加する社会保障経費を賄うことは難しい状況です。

平成26年度から、消費税率の引上げ分は、社会保障経費に使うこととなりますが、今後も増え続ける社会保障経費を補うことは、いずれできなくなります。

このため、問題を先送りすることなく、現段階から市が独自で実施してきたサービスや負担軽減策などについて見直し、予算配分を改めることが迫られています。

◆今後の推計人口における年齢層別構成割合◆

(各年4月1日)



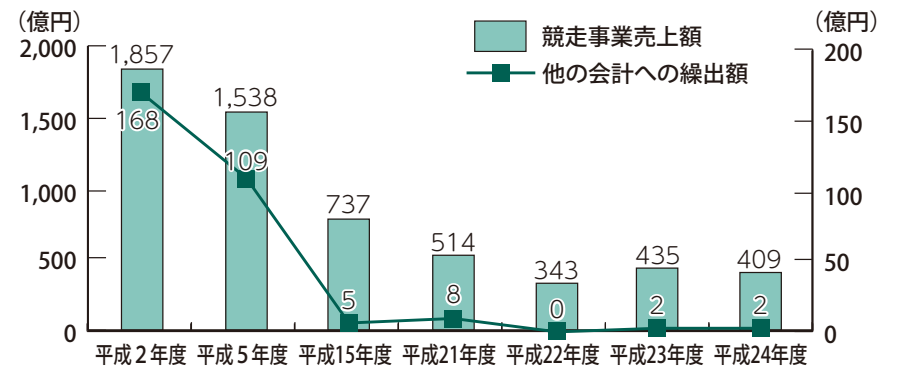
※平成25年は実績値です。

■競走事業収入の低迷

市の歳入の中で、他の自治体と異なる特色として、競走事業特別会計からの収益事業収入があります。競走事業は、大田区平和島にあるボートレース平和島で実施している公営競走事業で、平成2年度には、収益の中から約168億円を他の会計に繰り出すなど、区画整理事業、公共施設や下水道整備などの財源として活用してきました。

しかし、景気の低迷やレジャーの多様化などに伴い、近年では、人員削減など運営経費を見直した中でも、他の会計へ繰り出せる額が、2～3億円で、これまでのような繰出金の活用はできない状況です。景気回復が進まない限り、今後もこのような状況が続くものと想定されます。

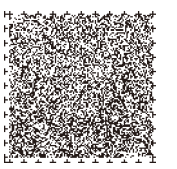
◆競走事業の売上額と他の会計への繰出額の状況◆



■公共施設・インフラの維持・更新費用の増加

競走事業特別会計からの繰入金などをもとに、施設整備を急速に進めた結果、本市は、他の自治体と比較し、公共施設が充実し、道路や公園などのインフラも整った利便性が高く、住みやすいまちとなりました。現在、これらの施設やインフラの老朽化を同時期に迎えており、維持・更新には、多額の費用が必要です。しかし、施設整備の財源となった競走事業特別会計から他の会計への繰出金は、売上額の減少に伴い、減少しているほか、施設改修に備え、計画的に積立している基金だけでは、十分にその財源を賄うことができない状況です。

このため、市では、インフラを維持するためのマネジメント計画の策定や公共施設の最適化や計画的保全に向けた方向性の検討を進めています。



健全財政の堅持が難しくなりつつあります 市の財政状況と今後の課題

市では、これまで第5次府中市総合計画で定めた各施策の実現に向け、新たな事業の実施や施設を整備するなど、市民サービスの向上に努めてきました。

しかし、当該計画期間中に、リーマンショックを契機とした景気悪化によって、市税などの収入が大幅に減額し、その後も伸び悩み中、少子高齢化に伴う社会保障経費の増加や、公共施設・道路などのインフラの適正な維持管理に係る費用の増加など、増大する行政需要への対応に迫られ、厳しい財政

状況が続いています。

このような状況の中、将来に渡って健全財政を堅持していくためには、さらなる行財政の効率的・効果的な運営が必要です。

この取組を進めるためには、市民の皆さんのご理解とご協力が必要となることから、今号では、市の財政状況や今後の課題についてお知らせします。

問合せは、財政課(335・4025)へ。

市の財政状況

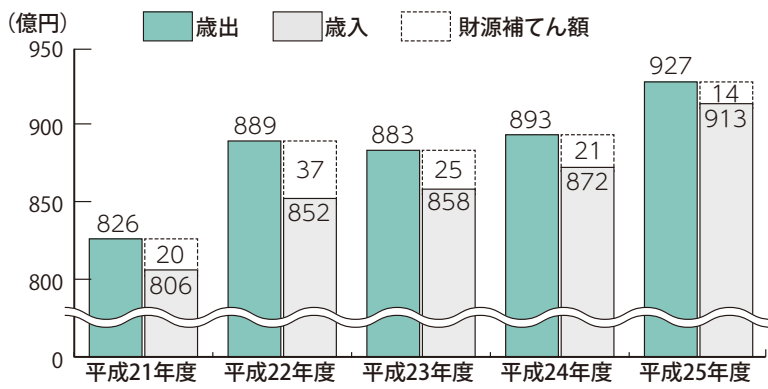
予算では

一般会計の予算編成では、市民サービスの充実や施設の改修・改築など様々な事業を実施するとともに、毎年増え続ける福祉などの扶助費への対応のため、不足する財源を、基金の取崩しや市債の借入で補っています。

これは、家庭に置き換えると、1年間の生活資金の不足分を貯金の取崩しやローンや借金をすることで捻出している状況と同じです。

■一般会計の予算編成における財源補てんの状況

一般会計の予算編成での財源補てんの対応は、基金の取崩しのほか、歳出に対して不足する歳入を国から借り入れる臨時財政対策債(赤字起債)の借入れで行ってきました。

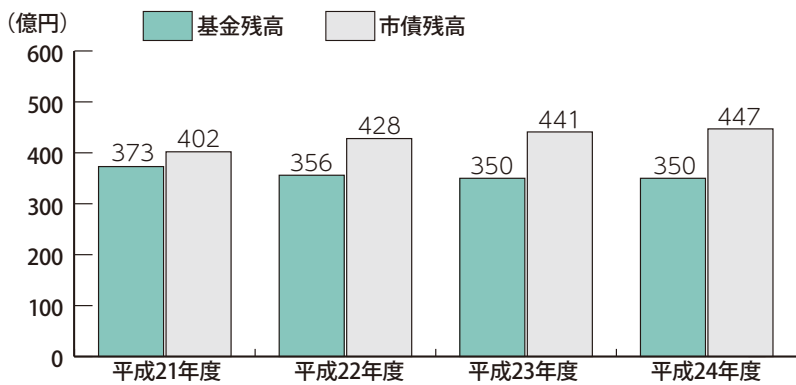


その結果

■基金残高と市債残高の状況

基金は、基金計画を定め、計画的に積立と取崩しを行っています。また、市債は、将来世代との負担の公平性を考え、建設事業などに借入れています。

しかし、近年、財源不足により、基金の大幅な取崩しや、臨時財政対策債の借入れによる財源補てんへの対応などにより、基金残高は減少し、市債残高は増加しています。



※基金残高や市債残高は、事業に伴う基金取崩しや積立、市債の借入や償還分も含みます。

決算では

経常収支比率は、市税などの毎年度経常的に収入される一般財源が、人件費や借入金の返済、福祉サービスや道路維持など、毎年度経常的に支出される経費の財源に、どのくらい使われたかを示す指標です。

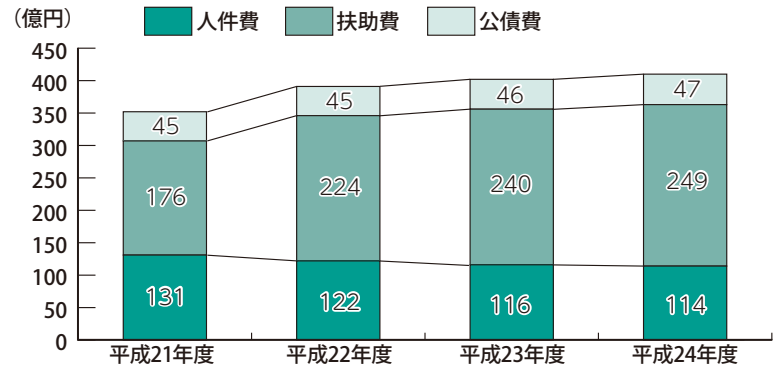
平成24年度の数値は、89.9%となっており、経常的に収入される一般財源のうち、約90%は毎年度必ず支出する経費に使われ、残った約10%の財源で、市独自の課題への対応や施設整備などを行っている状況です。

一般的に経常収支比率の適正水準は、70~80%とされており、施設や下水道などのインフラ施設の整った本市では、80%台を維持することを目標としている中、辛うじて目標を達成している状況です。

■義務的経費の内訳の状況

義務的経費とは、毎年、必ず支出する経費のうち、法令で支出することが義務付けられた経費で、職員の給与などの人件費、生活保護や障害者への給付、乳幼児への手当などの扶助費、施設整備などで借入れた市債の償還である公債費(ローンの返済)が該当し、一般会計の歳出の約半分を占めます。

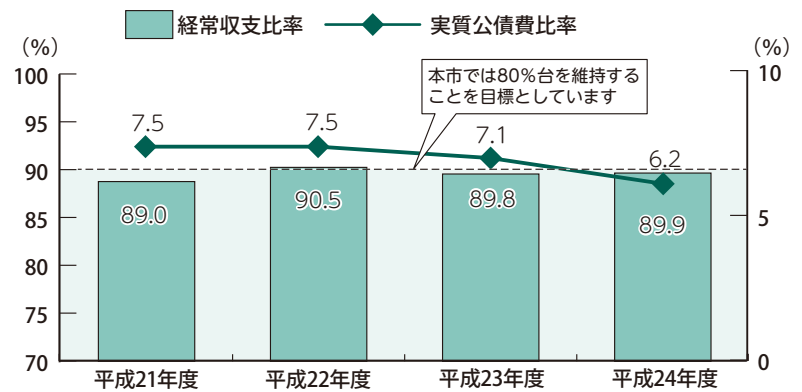
近年では、扶助費が大幅に増加しています。



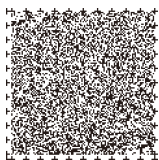
その結果

■経常収支比率と実質公債費比率の状況

下のグラフのとおり、毎年必ず支出する経費がかさみ、経常収支比率が90%を前後しており、財政の硬直化が進んでいます。また、市の収入からどのくらい市債の返済に充てているかを示す実質公債費比率は、徐々に減少しているものの、平成24年度の東京都26市の平均は2.7%であるのに対し、本市は6.2%であることから、その割合が特に高い自治体となっています。



本市では80%台を維持することを目標としています



募集します 市制施行60周年を 記念して行う事業

市は、4月1日(火)に、市制施行60周年を迎えます。そこで市では、市民団体や事業者、企業などが実施する事業のうち、市制施行60周年を盛り上げる事業を、市制施行60周年記念冠婚事業として募集します。
問合せは、政策課市制60周年記念事業担当(335・4096)へ。

▽対象 次の全てに該当する事業

- 4月1日(火)から平成27年3月31日(火)に実施されるもの
- 市内で実施し、市民を参加の対象としているもの
- 法令、または公序良俗に反しないもの
- 宗教・政治活動の目的でないもの
- 市の品位を害するおそれのないもの
- ▽支援内容
- 「府中市制施行60周年記念」の冠婚の使用
- 市制施行60周年記念シンボルマークの利用
- 市制施行60周年記念のぼりの貸与
- 市制施行60周年を記念する商品の販売許諾
- 協賛事業の周知
- ▽申込み 決められた用紙(市役所3階政策課に用意)で、〒183-0006総務部政策課へ
- ※決められた用紙は、市のホームページからダウンロードできます。

ご意見をお聞かせください 公共施設の最適化に向けた検討の方向性(案)

市では、次世代に過度な負担を残すことなく、これまで整備してきた公共施設を適正な規模で、かつ良好な状態で将来に引き継いでいくため、今後各施設で検討を行う際の考え方を示した、公共施設の最適化に向けた検討の方向性(案)を作成しました。

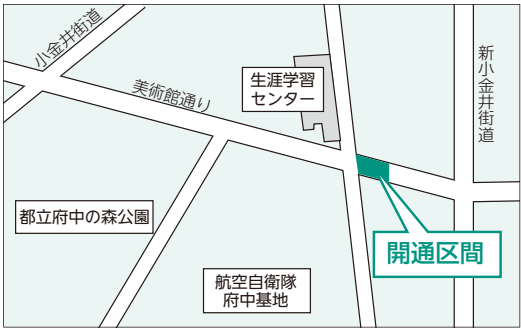
この案は、4月21日(月)まで、市役所3階市政情報公開室、中央図書館、各文化センター、市政情報センター、市のホームページでご覧いただけます。

募集します 介護保険要介護認定調査員(嘱託員)

▽採用日 5月1日(木)
▽対象 昭和24年4月2日以降に生まれ、介護支援専門員、保健師、看護師のいずれかの資格免許をもつ方
▽募集人員 若干名(選考)
▽内容 要介護認定調査業務ほか
▽募集要項 3月24日(月)まで、市役所1階高齢者支援課で配布(土・日曜日、祝日を除く)
※要項は、市のホームページからダウンロードできます。
▽申込み 3月24日(月)まで(必着)に、履歴書、資格証などの写し、小論文(介護と介護予防について)(800字以内)

開通しました 生涯学習センター 東側新設道路

3月10日に、周辺住民の協力により、生涯学習センター東側の新設道路が開通しました。
問合せは、土木課(335・4350)へ。



を〒183-0006福祉保健部高齢者支援課へ/持参可
▽問合せ 高齢者支援課介護認定係(335・4309)
AEDの使用法ほか

普通救命講習

▽日時 4月13日(日)・19日(土)・27日、5月11日(日)・17日、6月7日(土)・15日(日)・21日(土)・29日(日)午前9時~正午
※普通救命講習を受けて3年以内で、再講習を希望する方は、5月25日(日)午前9時~11時20分に行う講習を受講してください。

▽場所 府中消防署
▽対象 中学生以上の方
▽費用 市民無料、市外の方1400円(再講習は1200円)
▽内容 心肺蘇生法、AEDの使用法、止血法、異物除去ほか
※受講者には、後日認定証を発行します。郵送を希望する方は、住所、氏名を記入し80円切手を貼った封筒を持参してください。
※車での来場はご遠慮ください。
▽申込み 府中消防署防課(366・0119)へ
▽問合せ 防災危機管理課災害対策係(335・4098)

若者トラブル 110番

▽日時 3月17日(月)・18日(火)午前10時~正午、午後1時~4時
▽会場 消費生活相談室(スクエア21・女性専用)
※電話(360・3316)消費生活相談室へ

引き続き、正しい分別を 容器包装プラスチック 再検査で基準をクリア

昨年4月の品質検査でD評価を受けた、容器包装プラスチックの再検査が2月7日に行われました。市民の皆さんのご協力により、再検査の対象である未開封の小袋が大幅に減り、検査における品質ガイドラインの基準を満たすことができました。
しかし、今回の再検査でも、汚れている容器包装プラスチックや容器包装ではないプラスチックなどが依然として混入している状況でした。
平成26年度も同様の検査が行われますが、決められた品質を満たさない場合は、最終的に引取りが停止される可能性があります。市民の皆さんには、引き続き、正しい分別にご協力をお願いします。問合せは、ごみ減量推進課リサイクル係(335・4437)へ。

■若者が被害に遭いやすい悪質商法
○街頭で化粧品のアнкケートや肌の無料診断などと声を掛けられ、店などに連れて行かれ、エステや化粧品の契約をさせられてしまう
○「当選したのでプレゼントを取りに来て」などと事務所へ呼ばれ、会員権やアクセスカードの購入などを長時間勧誘され、契約させられてしまう
○もうけ話があるなどと誘われ、会員登録や健康食品などの商品の大量購入をさせられる
○出会い系サイトから請求メールが届き、回収に行くと言われて怖くなり、身に覚えがないのにお金を振り込んでしまう

寄付(敬称略)

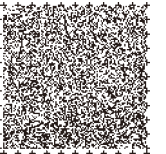
■社会福祉協議会へ
文化庁自主グループ連絡会 一万円
倉林三郎 一万円
是文通り商店会 一万九千二百円
積水ハウス府中中オフィス 十万円
鈴木政博 一万五千円
五七八六円

官公庁から

■多摩の魅力発信プロジェクト~たま発! in Spring 3月15日(土)午前9時半~午後4時 国営昭和記念公園(立川市緑町)無料/内容は笑いライブ、フォトコンテスト入賞作品展示、多摩地域のご当地キャラクターの登場ほか/当日直接会場へ/問合せはたま発!事務局(03・3457・3006)へ

■はじめてのアウトドア・クッキング 3月22日(土)午前10時~午後3時 都立武蔵野公園/雨天の場合は23日(日)/先着20人/費用中学生以上1500円、小学生750円、未就学児無料(材料費・保険料)/内容は自然の中で簡単に料理する方法を学ぶ/講師は長野修平氏(ネイチャーワークス代表)/主催は西武・武蔵野パートナーズ/小学生以下は保護者同伴/申込み・問合せは電話で、または直接同公園サービス(361・6861)へ
■水道についての問合せは都水道局多摩お客さまナビダイヤルをご利用ください 引越・契約内容の変更(0570・091・100)、料金・漏水修繕(0570・091・101)へ/PHSやIP電

話からの問合せは(042・548・5100、または042・548・5110)へ、日曜日、祝日を除く午前8時半~午後8時に
■野川流域連絡会委員募集 任期は2年/対象は野川流域に在住・在勤・在学の方(市民団体を含む)/内容は野川を自然豊かな親しめる川とするための意見交換/申込みは4月11日(金)まで(必着)に、野川への思いや意見、応募の動機(800字程度)も記入して、都北多摩南部建設事務所(〒183-0006緑町1の27の1)へ/持参可/選考あり/問合せは同連絡会事務局(330・1845)へ



ひろば

■「府中いろはの会」会員募集 活動は第2・4金曜日の午後2時~9時 多磨町公会堂(多磨町1の37)/費用月額4000円(体験は無料)/内容は歌謡曲/講師は沖 たかし氏(作曲家)/申込み・問合せは森宅(369・8469)へ
■「けやき・トウムの会」会員募集 活動は金曜日の午後1時~5時(月4回) ルミエール府中ほか/費用月額6000円(体験会あり)/内容は韓国語/講師は呉 原弘氏(通訳案内士)/申込み・問合せは村松宛(080・3011・5768)
■「おもちゃ箱」会員募集 活動は第

1~3木曜日の午前9時半~正午 中央文化センター/費用月額3000円/内容は親と子で楽しむリトミック/講師は中川春美氏(リトミック講師)/申込み・問合せは南谷宛(090・1792・4016)へ

市からの情報かわら版

○各事業の申込み(先着順)で、時間の記載のないものは、午前8時半から受け付けます

講座・催し

家庭の日事業「親子でLEDを使ったランプを作ろう」

▽日時 3月22日(土)午後1時~4時
 ▽会場 府中駅北第2庁舎3階会議室
 ▽対象 小学生の市民と保護者
 ▽定員 30組(抽せん)
 ▽費用 1組350円(材料費、保険料)
 ▽申込み 3月17日(月)まで(必着)に、はがきに住所、参加希望者全員の氏名(ふりがな)、電話番号を記入して、〒183-8703子ども家庭部児童青少年課「親子LED工作教室」係へ
 ▽問合せ 児童青少年課青少年係(335・4427)

自然環境学習会「動物の視点から見た府中の自然」

▽日時 3月25日(火)午後5時半~7時
 ▽会場 府中駅北第2庁舎3階会議室
 ▽定員 先着50人
 ▽内容 身近な生きものの生態を通して生物多様性の保全について考える
 ▽講師 小池伸介氏(東京農工大学大学院講師)
 ▽申込み 当日直接会場へ
 ▽問合せ 環境政策課自然保護係(335・4315)

市民活動支援事業「人形劇で学ぶ『江戸しぐさ』体験教室」

▽日時 ①3月27日(木)午後2時~3時・②28日(金)午後1時~2時・③3時~4時
 ▽会場 ①むさし府中商工会議所、②③ルミエール府中
 ▽定員 各回先着30人
 ▽費用 無料
 ▽内容 お互いに助け合って生きる生活の知恵「江戸しぐさ」の人形劇と体験
 ▽申込み 当日直接会場へ
 ▽問合せ 大江戸文化振興ネットワーク事務所(360・8226)、または市民活動支援課支援係(335・4035)

府中少年少女合唱団定期演奏会

▽日時 3月30日(日)午後2時半
 ▽会場 府中の森芸術劇場
 ▽入場 自由(無料)
 ▽曲目 合唱ミュージカル「ウエストサイド物語」ほか
 ▽出演 上田京子(指揮)、伊勢淑子(ピアノ)ほか
 ■府中少年少女合唱団団員募集
 ▽練習日時 毎週土曜日の①午後2時~3時半・②2時半~5時
 ▽対象 市民で、①新小学1~3年生・②新小学4年~新中学3年生
 ▽定員 各30人
 ▽費用 月額3000円程度/教材などの実費負担あり
 ▽指導 上田京子氏(声楽家)ほか
 ※4月12日(土)午後1時半から生涯学習センターで入団説明会を行います。
 ▽申込み 4月8日(火)までに、電話で文化振興課へ

◆ 共通項目 ◆

▽問合せ 文化振興課事業企画係(335・4464)

交通安全講習会

▽日程・会場 下の表のとおり
 ▽費用 無料
 ▽内容 交通安全の講話、ビデオ上映、自転車シミュレーターによる講習
 ※会場により講習内容は異なります。
 ▽申込み 当日直接会場へ
 ▽問合せ 地域安全対策課安全係(335・4147)、または府中交通安全協会(366・4330)

日程	会場
3月20日(木)	紅葉丘文化センター
3月24日(月)	西府文化センター
3月25日(火)	武蔵台文化センター
3月26日(水)	是政文化センター
3月28日(金)	白糸台文化センター
3月31日(月)	住吉文化センター
4月2日(水)	中央文化センター
4月3日(木)	新町文化センター
4月4日(金)	片町文化センター

*時間は、いずれも午後2時~3時。
 *車での来場はご遠慮ください。

環境保全活動センター事業「玉川上水散策と小金井桜を観るツアー」

▽日時 4月4日(金)午前9時~正午/荒天中止
 ▽集合場所 多摩都市モノレール線玉川上水駅
 ▽対象 市民
 ▽定員 15人(抽せん)
 ▽費用 無料
 ▽行程 上水小橋~小川水衛所跡~小金井橋~関野橋~小金井公園
 ▽協力 小金井桜を復活する会
 ▽申込み 3月20日(木)まで(当日消印有効)に、往復はがき(1人1枚)に住所、氏名(ふりがな)、年齢、性別、電話番号、返信用宛名を記入して、環境保全活動センター(〒183-0056寿町1の5)へ
 ▽問合せ 環境保全活動センター(335・4410)

子育てひろば「ほのぼ」

▽日時 4月25日、5月2日・9日・16日(金)午前10時~11時半(全4回)
 ▽会場 住吉文化センター
 ▽対象 平成25年5~8月生まれの乳児と保護者で、初めて参加する方/兄姉の参加不可
 ▽定員 先着10組
 ▽費用 無料
 ▽内容 親子交流、子育ての相談・情報提供ほか
 ▽申込み・問合せ 保育課管理係(335・4341)へ

お知らせ

都市計画案の公告・縦覧

▽期間 3月25日(火)まで/土・日曜日、祝日を除く
 ▽場所 市役所7階計画課
 ▽内容 府中都市計画生産緑地地区の変更案
 ※市民、または利害関係のある方は、3月25日(火)までに意見書(住所、氏名、計画案の名称、意見を記入、郵送の場合は〒183-8703都市整備部計画課に必着)を提出できます。
 ▽問合せ 計画課都市計画担当(335・4335)

建築基準法に基づく公聴会

▽日時 3月20日(木)午後3時
 ▽会場 市役所北庁舎3階会議室
 ▽対象 次の土地・建物について利害関係のある方
 ○所在地 小柳町2の37の1の一部
 ○計画の内容 事務所(スマートインターチェンジ管理施設)の新築
 ○地域・地区 第一種中高層住居専用地域、第二種高度地区、準防火地域
 ○延べ面積(申請部分) 88.43平方メートル
 ○構造・階数・高さ 鉄骨造・地上2階・7.610メートル
 ※公聴会で意見を述べたい方は、3月17日(月)まで(郵送の場合は〒183-8703都市整備部建築指導課に必着)に、意見の要旨、住所、氏名、当該処分についての利害関係を記入した市長宛の文書を市役所8階建築指導課へ提出してください。
 ▽問合せ 建築指導課管理係(335・4479)

審議会・協議会など

男女共同参画推進懇談会

3月14日(金)午後6時半 市役所北庁舎3階会議室/傍聴希望の方(先着10人)は前日までに、スクエア21・女性センターへ/問合せは同センター(351・4600)へ

障害者計画推進協議会

3月19日(水)午後2時 市役所北庁舎3階会議室/傍聴希望の方は前日までに、障害者福祉課へ/問合せは同課生活係(335・4545)へ

放課後子どもプラン検討協議会

3月19日(水)午後6時半 市役所北庁舎3階会議室/傍聴希望の方は前日までに、児童青少年課へ/問合せは同課放課後児童係(335・4300)へ

教育委員会定例会

3月20日(木)午後3時 教育センター/傍聴希望の方は前日までに、総務課へ/問合せは同課総務係(335・4424)へ

子ども・子育て審議会

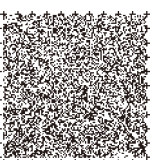
3月26日(水)午後2時 市役所北庁舎3階会議室/傍聴希望の方(先着10人)は前日までに、子育て支援課へ/問合せは同課推進係(335・4192)へ

○掲載内容は、当事者間で責任をお持ちください
 ○はがきなどでの申込みは、住所・氏名・電話番号などを記入してください

ひろば

■相続・遺言に関するセミナー・相談会 3月29日(土)午後1時半~4時 府中グリーンプラザ/先着25人/無料/相談員は行政書士、社会保険労務士、ファイナンシャルプランナー/主催は多摩市民法務支援センター/申込み・問合せは同支援センター事務局(070・5467・3377)へ

■森の地図スタンプラリー 4月6日(日)まで/無料(一部入場料などが必要)/内容は府中市、小金井市、武蔵野市など12か所のポイントをめぐるスタンプラリー/問合せは武蔵野コッウォルズ(042・32・0962)へ



■俳句初級講座 4月1日・15日、5月6日・20日、6月3日(火)・18日(水)午後1時半~4時 府中グリーンプラザ/対象は市民/定員15人(抽せん)/費用各回500円(資料代ほか)/内容は俳句の基礎ほか/講師は笹木 弘氏(府中市俳句連盟会長)/申込みは3月20日(木)まで(必着)に、往復はがきで笹木 弘宅(〒183-0031西府町2の10の3の802)へ/問合せも同宅(364・3506)へ

■耳、鼻、のどの病気や聞こえについての市民講座 3月15日(土)午後1時半~2時半 スクエア21・女性センター/先着40人/無料/内容は耳鼻咽喉科についての話/講師は齋藤晋氏(きずなクリニック医師)/主催は健康について考える会/当日直接会場へ/問合せは同会事務局・斎藤宛(365・1211)へ

■府中西高校吹奏楽部定期演奏会 3月28日(金)午後5時 府中の森芸術劇場/無料/曲目は「ブルースカイ」「SMA Pメドレー」「虹の翼」ほか/未就学児の入場不可/問合せは同校・寺内宛(365・5933)へ

■混声合唱無料講座 ①3月17日・②24日・③31日(月)午前10時 ①③府中グリーンプラザ、②住吉文化センター/無料/内容は発声指導、親しみやすい曲を歌う/講師は矢ヶ部直子氏(声楽家)/主催は新たなしいコーラス/申込み・問合せは坂本宅(364・3778)へ

■民謡コンクール大会 3月23日(日)午前10時~午後6時 府中の森芸術劇場/無料/主催はむさし府中民謡連盟/問合せは工藤宅(361・5328)へ

■日本舞踊体験教室 4月13日から9月28日の第2・4日曜日(全12回)午前9時半~正午 新成区自治会公会堂(府中町1の22)ほか/対

象は4歳~小学生/先着20人/無料/内容は古典日本舞踊の基礎、着物の着付けと所作/講師は日本舞踊師範/申込みははがきに年齢も記入して、渡辺美由紀宅(〒183-0055府中町1の17の3)へ/問合せも同宛(090・5324・6530)へ

■さくらのお花見ウォーキング 3月30日(日)午前9時~正午/対象は中学生以上の市民/先着20人/無料/内容は飛田給駅から浅間山周辺を歩く/講師は浅間山自然保護会会員/主催は浅間山ウォーキングクラブ/申込み・問合せは島中宛(090・9303・7062)へ

■日本心臓ペースメーカー友の会勉強会 3月25日(火)午後1時~4時 東京都多摩障害者スポーツセンター(国立市富士見台)/費用500円(軽食代)/内容はペースメーカー体験談と懇談会/主催は同会西東京支部/当日直接会場へ/問合せは中島宅(327・5507)へ

市の施設☆講座・催し情報

○各事業の申込み(先着順)で、時間の記載のないものは、午前9時から受け付けます

生涯学習センター

〒183-0001 浅間町1の7
☎050・3491・9849

■日本の古代と神話

4月3日から5月8日の毎週木曜日
午後2時~4時(全6回) 講堂/対象は平成10年4月1日以前生まれの市民/先着290人/費用1800円/内容は古代の武蔵国、邪馬台国論争/講師は広沢謙一氏(文学・歴史研究家)/申込みは電話で当館へ

■万葉挽歌の世界

4月9日から5月28日の水曜日
午後2時~4時(全7回) 講堂/対象は平成10年4月1日以前生まれの市民/先着290人/費用2100円/内容は万葉歌人の心情ほか/講師は針原孝之氏(二松学舎大学名誉教授)/申込みは電話で当館へ

郷土の森博物館

〒183-0026 南町6の32
☎368・7921
入場料 200円(中学生以下100円)

■プラネタリウム春の新番組「いきものがたり~A story of Biodiversity」

3月15日(土)から6月1日(日)
プラネタリウム/投影時間は下の表のとおり/費用大人400円、中学生以下200円/内容は3000万種ともいわれる地球上の生物たちの不思議なつながりを描く物語

曜日	平日	土曜日	日曜日・祝日、3月26日(水)から29日(土)
午前11時			銀河鉄道の夜
午後零時半			宇宙兄弟
午後2時			いきものがたり
午後3時半			ドラえもん

※4月1日(火)から、平日の投影は休止します。

■押し花教室~初春編

3月23日・30日(日) 午前10時~正午(全2回) ふるさと体験館/対象は全回参加できる方/先着10人/費用1200円/内容は園内で摘んだ草花で押し花を作る/小学3年生以下は保護

者同伴/申込みは電話で当館へ/23日が雨天の場合は中止

府中市美術館

〒183-0001 浅間町1の3
☎336・3371

■市民ギャラリー「日本水彩画会東京西支部展」

3月25日(火)から30日(日) 午前10時~午後5時(25日は午後1時から、30日は午後4時まで) 市民ギャラリー/無料

■公開制作アーカイブ公開

3月21日(祝)から4月6日(日)
公開制作室/無料/内容は過去の公開制作の資料展示、ボランティア活動紹介

府中の森芸術劇場

〒183-0001 浅間町1の2
☎335・6211

【チケットの申込み】

・チケットふちゅう(午前10時~午後6時) ☎333・9999

・チケットぴあ(各チケット予約開始日の午前10時から) ☎0570・02・9999

■劇団四季ファミリーミュージカル「ふたりのロッセ」

4月28日(月) 午後6時半 ふるさとホール/入場料大人5000円、小学生以下3000円(全席指定、2歳以下の膝上での鑑賞は無料)/チケット発売開始は3月15日(土)

■芸術文化講座「神津善行による府中の森音楽・文化教室」

5月23日(金)、7月14日(月)、9月26日、11月21日(金)、平成27年1月29日(木)、3月13日(金) 午後2時~4時(全6回) ふるさとホールほか/対象は18歳以上の方/定員500人(抽せん)/費用13000円/講師は神津善行氏(作曲家)ほか/申込みは3月29日(土)まで(必着)に、往復はがき(1人1枚)に住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、返信用宛名を記入して、当劇場「芸術文化講座」係へ

市制施行60周年記念

多摩川清掃市民運動

多摩川の自然に親しみ、自治会・企業・市民の親睦を図り、多摩川をよりきれいにするため、多摩川清掃市民運動を開催します。ぜひ、ご参加ください。

問合せは、多摩川清掃市民運動実行委員会事務局(335・4195=環境政策課内)へ。

▽日時 4月13日(日)午前9時~10時半/雨天の場合は20日(日)

▽場所 市内多摩川河川敷(一部河川敷に降りられない場所、危険な場所を除く)

▽内容 燃やすごみ、燃やさないごみ、びん、缶、ペットボトルなどの分別収集

▽申込み 当日直接各集合場所へ

※集合場所(全9か所)には目印の旗が立っています。

※軍手、ごみ袋、ごみばさみは、集合場所に用意してあります。

※作業しやすい服装で参加してください。



▲みんなの多摩川をきれいに保ちましょう

■中村歌昇改め三代目中村又五郎、中村種太郎改め四代目中村歌昇襲名披露「松竹大歌舞伎」

7月4日(金)午後1時 どりーむホール/入場料S席5000円、A席4000円(全席指定)/演目は「双蝶々曲輪日記『角力場』」「傾城反魂香『土佐将監閑居の場』」/出演は中村吉右衛門、中村又五郎、中村歌昇ほか/チケット予約開始は3月15日(土)/未就学児の入場不可

府中グリーンプラザ

〒183-0055 府中町1の1
☎360・3311

■名作映画会年間通し券

日程・作品は下の表のとおり/費用4200円(各回1枚・5枚入り)/チケットは3月13日(木)から6月20日(金)に当館、ルミエール府中で発売

日程	作品(主演)
6月19日(木)・20日(金)	晩春(原節子)、自由学校(佐分利 信)
9月11日(木)・12日(金)	おとうと(岸 恵子)、幕末太陽傳(フランキー堺)
11月13日(木)・14日(金)	女が階段を上る時(高峰秀子)、喜劇にっぽんのお婆ちゃん(ミヤコ蝶々)
平成27年1月16日(金)・17日(土)	白鷺(山本富士子)、男はつらいよ寅次郎忘れな草(渥美 清)
平成27年3月13日(金)・14日(土)	お遊さま(田中絹代)、夫婦善哉(森繁久彌)

※日程・作品は変更になる場合があります。



▲「晩春」 ©1949 松竹株式会社

スクエア21・女性

〒183-0034 住吉町1の84
☎351・4600

■女性地域連携講座「子宮筋腫治療と子宮腺筋症の市民講座」

3月29日(土) 午後1時半~3時半/先着40人/無料/講師は瀧康紀氏(府中恵仁会病院医師)/共催は同病院/当日直接会場へ/問合せは同館へ

介護予防推進センター

〒183-0033 分梅町1の31
☎330・2010

■介護予防講座「楽しく身に付く栄養調理講座」

3月19日(水)・28日(金) 午後1時半~3時半/先着10人/費用300円/内容は乾物を使った副菜の調理実習

■介護予防講座「ストレッチ」

3月20日(木) 午後2時半~3時半/先着20人/無料/内容は自宅でできる全身ストレッチの紹介

■出張介護予防講座「スポーツ吹矢体験」

3月29日(土) 午前10時~11時半 武蔵台文化センター/先着15人/無料

■いきいきハウス1泊体験「はじめよう!パソコン~ハガキ編」

4月2日(水)・3日(木)/先着6人/費用3300円(食費含む)/内容はWordを使ったはがき作成を通し

て脳の活性化を図る

◆ 上記4記事の共通項目 ◆

対象は介護保険の認定を受けていない65歳以上の市民/申込みは3月12日(水)から電話で当館へ

■介護予防講座「懐かしいメロディに合わせて楽しみながら健康促進」

3月25日(火) 午後1時半~3時/対象はおおむね50歳以上の市民/先着60人/無料/内容は音楽療法を取り入れた介護予防のための講話と実技/講師は音楽療法士/申込みは3月12日(水)から電話で当館へ

■出張介護予防体力測定会「チャレンジ!!みんなで元気度チェック」

①3月26日(水)・②27日(木) 午後2時~3時半 ①府中グリーンプラザ、②スクエア21・女性/対象はおおむね65歳以上の市民/先着30人/無料/内容は片足立ち・骨密度・血管年齢測定ほか/当日直接会場へ

ルミエール府中

〒183-0055 府中町2の24
・中央図書館 ☎362・8647

■図書館員体験ツアー

3月23日(日) 午前10時、午後2時 中央図書館/対象は小学生と保護者/各回先着10人/無料/内容は本のカバー掛けや修理、返却本の後片付けほか/申込みは電話で、または直接同館へ

■図書館バリアフリー映画会

3月29日(土) 午後2時~4時半 講習会議室/対象は聴覚・視覚障害のある方ほか/先着40人/無料/内容は映画「武士の家計簿」(字幕・音声ガイド付き)の上映/申込みは電話で、または直接同館へ

心身障害者福祉センター「きずな」

〒183-0026 南町5の38
☎360・1312/FAX368・6127

■地域交流イベント

3月26日(水) 午前10時半~午後2時半/雨天の場合は27日(木)/無料/内容は移動動物園/手話通訳あり/当日直接当館へ

ふれあい会館

〒183-0056 寿町3の2
・府中ボランティア ☎364・0088

■はじめの一步~「夢バンク」ボランティア教室

3月24日(月) 午後2時~4時半 6階会議室/対象はこれから市内でボランティア活動を始めようと思っている方/先着20人/内容はボランティア活動時の心構え、趣味や特技の生かし方、車いすの扱い方/申込み・問合せは府中ボランティア ☎

市民保養所「やちほ」

〒384-0704 長野県南佐久郡佐久穂町大字八郡2049の150
☎0120・210446

■指定管理者主催「桜の名所・高遠小彼岸桜と善光寺お花見バスツアー」

4月16日(水)・17日(木)/1泊2日/集合は午前6時50分に大國魂神社大鳥居下/定員13組40人(抽せん)/費用22000円、小学生以下18000円(宿泊費、食費4食分、保険料ほか、市外の方は2000円が別に必要)/申込みは3月18日(火)までに、電話で当保養所へ

